

佳作 高齢者介護からの学び



ジュミヤティ アワラトゥリヤ
JUMIATI AWALATULIYAH
国 籍 インドネシア
職 種 介護
実習実施者 株式会社福村屋
監 理 団 体 GTS 協同組合

私は今日本で介護の仕事をしています。命に関わっているので介護の仕事は簡単な仕事ではないのだと思います。一番心配なのは言葉がちゃんと理解できるかどうかです。日本語が分からなくて質問する事が多いですが説明してもらっても分からない事ばかりです。特に方言です。あかんやえらいといった言葉が最初は全然分かりませんでした。繰り返し話してくれたり丁寧に説明してくれる人も沢山います。でも言葉が難しいとせっかくゆっくり話してもらっても分かりません。日本語の例を簡単にあげてもらえると分かる事が多いです。抽象的な説明が続くと頭の中で分からなくなってしまい、説明してもらっているのに分かりませんと言うのも失礼かなと思って分かったふりをしてしまう事もあります。でもいつも応援してくれている皆さんのおかげで日本語が徐々に理解できるようになりました。職員さんや利用者さんに分からない事があったら聞いてねといつも心配してくれます。本当に助かります。介護の仕事で色々な勉強ができています。例えば人には思いやりの気持ちを持つ事や気遣う事、自分には辛い事や困難な事があっても、あ

きらめずに仕事に取り組む事です。仕事している時よく利用者さんに言われます。大きな声でお腹が空いたよ、ご飯を持って来てくれよと言われ、さっき食べましたよと返事をしましたが十分経っていないのにまた同じ事を言われます。それは認知症のせいだと教えてもらいました何度も同じ事を繰り返す事は根気強くもなるし勉強にもなります。優しく返事をする事は大切です。怒ったりイライラするのは絶対に駄目です。働くときはチームの協力が大事なので、皆さんの協力で気遣う事や思いやりを持つ事も大切な勉強になっています。私は外国人ですが職員さんに決して差別されるような事はなく、とても親切です。頑張ってねと言ってくれている職員さんも多いです。いつも応援してくれている皆さんの気持ちに答えるので、仕事も勉強も頑張っていきたいと思っています。特に介護の勉強です。高齢者介護に初めて携わってから家族の大切さを実感します。体調が悪かったり機嫌が悪い利用者さんもいますが家族さんと電話をしたり、訪ねて来たりするとすぐに表情が明るくなります。そして認知症の利用者さんもいます。いつも家に帰りたいと言われます。なぜ家に帰りたいのかと聞くと子供の世話をしないといけない、料理を作らないといけない、家族の世話をしなければならぬと言われます。それを聞いて私はとても感動します。傾聴する事が介護の仕事のはじまりだと思います。